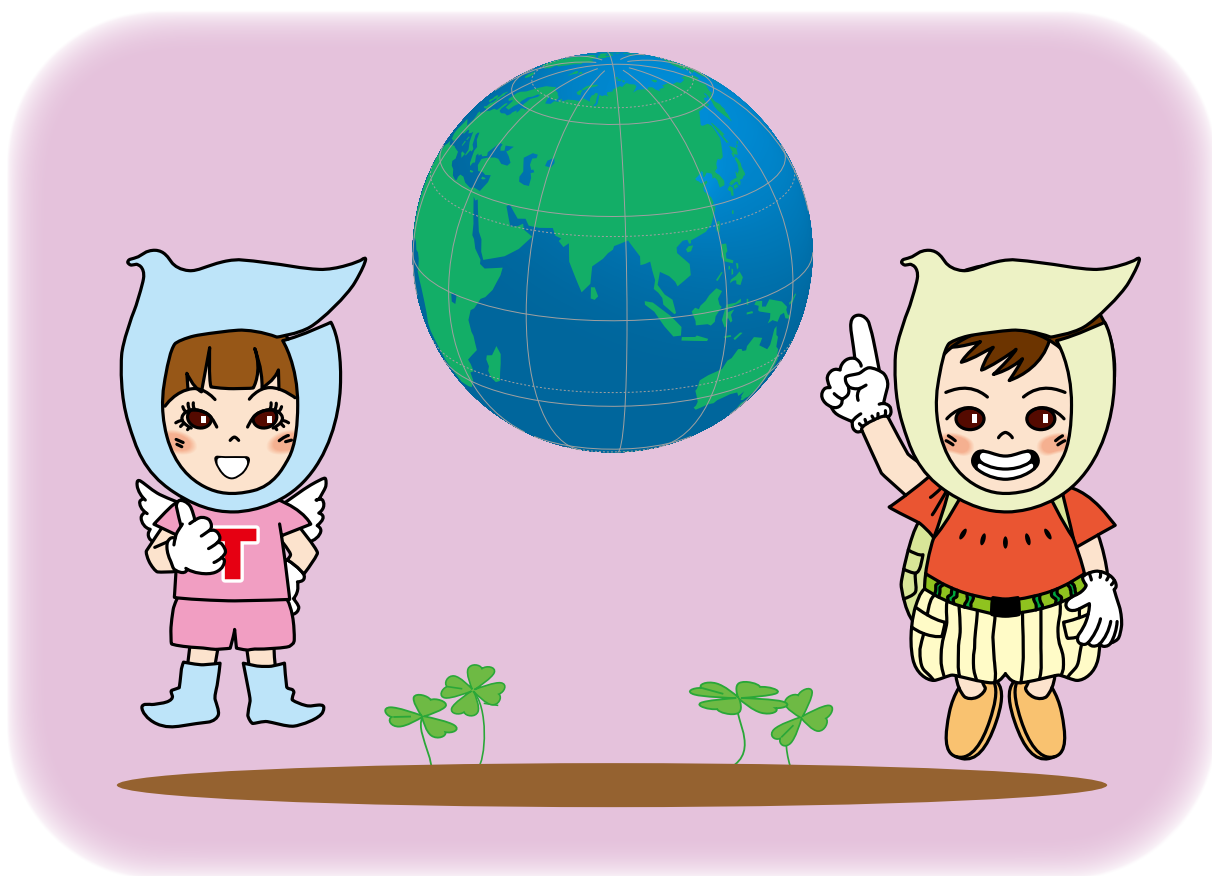


# 小学6年生

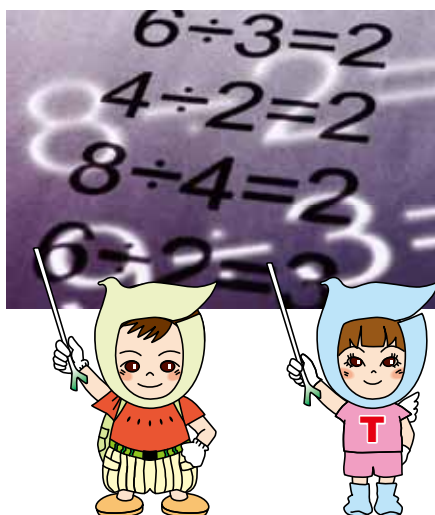
小学  
6年生



## 6年 算数 目次

ページ	学習内容	学習 予定日	学習日 2回目	学習日 3回目
6-1	分数(1)分数×分数	/	/	/
6-2	分数(2)分数÷分数	/	/	/
6-3	分数のまとめ	/	/	/
6-4	小数や分数の計算のまとめ(1)	/	/	/
6-5	小数や分数の計算のまとめ(2)	/	/	/

小学  
6年生



(1) 次の計算をしましょう。

①  $\frac{4}{3} \times \frac{1}{5}$

②  $\frac{5}{6} \times \frac{5}{8}$

③  $7 \times \frac{4}{9}$

④  $1\frac{1}{3} \times 2\frac{3}{5}$

⑤  $\frac{5}{6} \times \frac{7}{10}$

$$\frac{\triangle}{\square} \times \frac{\star}{\circ} = \frac{\triangle \times \star}{\square \times \circ}$$



整数は、分母を1とする分数になおします。  
帯分数は、仮分数になおします。



⑥  $\frac{3}{10} \times \frac{1}{2} \times \frac{5}{6}$

2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の<sup>ぎやくすう</sup>逆数というんだ。

$\frac{2}{3}$  の逆数は、 $\frac{3}{2} \left( 1\frac{1}{2} \right)$ 。

$\frac{1}{5}$  の逆数は、5だよ。



(2) 次の分数の<sup>ぎやくすう</sup>逆数をかきましょう。

①  $\frac{3}{5}$

②  $\frac{11}{7}$

③ 0.3

④ 0.25

☆家の人のはるし

(1) 次の計算をしましょう。

①  $\frac{1}{3} \div \frac{1}{2}$

②  $\frac{3}{4} \div \frac{4}{5}$

③  $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5}$

④  $\frac{3}{5} \div \frac{3}{10}$

⑤  $60 \div \frac{1}{2}$

⑥  $1\frac{1}{2} \div 2\frac{1}{4}$

⑦  $\frac{1}{8} \div \frac{1}{6} \div \frac{4}{5}$

⑧  $\frac{2}{7} \div \frac{5}{14} \div \frac{8}{15}$

$$\frac{\triangle}{\square} \div \frac{\star}{\circ} = \frac{\triangle \times \circ}{\square \times \star}$$

逆数をかけます。  
約分も忘れないでね。



6-2

$$\frac{\blacksquare}{\square} \div \frac{\bullet}{\circ} \div \frac{\blacktriangle}{\triangle} = \frac{\blacksquare \times \circ \times \triangle}{\square \times \bullet \times \triangle}$$

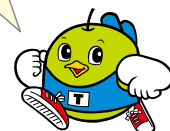


約分ができるものは  
すべてしましょう。

<かけ算とわり算が混じった  
計算にもチャレンジ！>

$$\frac{5}{7} \div \frac{3}{4} \times \frac{7}{15}$$

家の人のしるし



(1)  の中にあてはまる数をかきましょう。

①  人の  $\frac{1}{2}$  は、1000人です。

②  Lの  $\frac{2}{5}$  は、40Lです。

③ 60kgの  $\frac{3}{4}$  は、 kgです。

④ 100円の  $\frac{1}{10}$  は、 円です。

⑤ 20分は、 分の  $\frac{2}{3}$  です。

⑥  $\frac{3}{5}$  mは、 mの  $\frac{1}{20}$  です。

□を求める式は、どうなるかな。

① □の  $\frac{1}{2}$  倍は1000

□  $\times \frac{1}{2} = 1000$  ということだから、

□にあてはまる数は、 $1000 \div \frac{1}{2}$  を計算すればいいね。



(2) 次の計算をしましょう。

①  $\frac{2}{7} \div \frac{4}{5} \times 0.6$

②  $\frac{3}{5} \times \frac{6}{7} \div 0.8$

小数は、分数になおしてから計算してね。



③  $\frac{7}{15} \times \left( \frac{1}{2} - \frac{1}{7} \right)$

④  $\frac{1}{2} \times \frac{1}{3} + \frac{1}{3} \times \frac{1}{4}$

かけ算とたし算が混じった計算では、かけ算を先に計算するよ。



☆家の人の子るし

6-4 小数や分数の計算のまとめ(1) 学習日 月 日( )

(1) 次の計算をしましょう。

①  $2.4 + 3.5$

③  $0.8 - 0.3$

⑤  $0.4 \times 6$

⑦  $7.3 \times 1.2$

⑨  $4.5 \div 9$

⑪  $36 \div 0.6$

⑬  $\frac{1}{5} + \frac{2}{5}$

⑮  $\frac{3}{4} + \frac{1}{9}$

⑰  $\frac{2}{9} \times \frac{3}{8}$

⑲  $\frac{3}{4} \times 1\frac{2}{9}$

②  $0.9 + 2.2$

④  $2.3 - 1.5$

⑥  $6.9 \times 51$

⑧  $0.32 \times 0.14$

⑩  $7.2 \div 3$

⑫  $1.87 \div 5.5$

⑭  $\frac{11}{13} - \frac{9}{13}$

⑯  $\frac{7}{8} - \frac{5}{12}$

⑱  $\frac{2}{3} \div \frac{4}{5}$

⑳  $1\frac{3}{8} \div 2\frac{3}{4}$

位をそろえて計算してね。小数点の位置にも気をつけて。



6-4

㉑  $0.25 \div 1\frac{2}{3} \div 2\frac{1}{4}$

約分を忘れていないかな。しっかり確かめよう。



☆家の人しるし

6-5 小数や分数の計算のまとめ(2) 学習日 月 日( )

(1) 積がかけられる数より大きくなるのはどの式ですか。

ア $12 \times 1$	イ $30 \times 1.3$	ウ $55 \times 0.2$	エ $80 \times 0.05$
オ $16 \times \frac{3}{8}$	カ $20 \times \frac{5}{4}$	キ $\frac{2}{9} \times \frac{3}{8}$	ク $\frac{2}{9} \times \frac{9}{2}$

かける数 > 1 のとき、積 > かけられる数となるんだね。



答え

(2) 商がわられる数より大きくなるのはどの式ですか。

ア $20 \div 1$	イ $15 \div 2.5$	ウ $50 \div 0.1$	エ $100 \div 0.04$
オ $16 \div \frac{3}{8}$	カ $20 \div \frac{5}{4}$	キ $\frac{2}{9} \div \frac{3}{8}$	ク $\frac{2}{9} \div \frac{9}{2}$

わる数 < 1 のとき、商 > わられる数となります。覚えていたかな。



答え

(3) 山陰自動車道は、鳥取県内の全区間を合わせると、88kmになります。  
 このうち、米子道路13.6km、名和・淀江道路12.1km、青谷・羽合道路13.2kmの3区間が開通しています。(H22)

① 開通している区間は、全部で何kmになりますか。

式

答え km

山陰自動車道は、鳥取市から山口県美祢市までを結ぶ延長約380kmの高速道路です。

② まだ開通していない区間は、何kmありますか。

式

答え km



③ 開通している区間は、鳥取県内全区間の約何%になりますか。

一の位までの概数で答えましょう。

式

答え 約 %

百分率 =  $\frac{\text{くらべる量}}{\text{もとにする量}} \times 100$  (%) で求めることができるね。



☆家の人のしるし